



平成 28 年 10 月 22 日の東京湾再生官民連携フォーラム 第 4 回通常総会における 来生議長あいさつ

ご紹介を頂いた来生です。東京湾再生官民連携フォーラムも今年で第 4 回の総会でございます。この 4 年間、おかげさまでこのフォーラムの活動も政策提案と東京湾大感謝祭という二つの軸を持ちながら、これまで順調に政策提案も行うことができ、大感謝祭も幸いにして天候にも恵まれるということもあって、年を重ねるごとに盛況になってまいりました。この 4 年間皆様のおかげで順調に、ある意味でこの会の活動が推移してきておりますけれども、ちょうど 4 年間たって、とりあえず手探りでスタートしたというところから、初期の活動が順調に推移してきた言う事を踏まえて、今のタイミングでまた、この活動を将来に向けて安定的にサステナブルに展開する、東京オリンピック、2020 年で東京湾に一つの世間的な関心が集まっていますが、東京湾、オリンピックが終わってもまだまだ私たちの貴重な財産としてよりよくしていかなければいけない。そういう将来を見据えてこの会の活動をどのような形で行うことがよいのか。出発の時点ではとりあえずということで、法人格を持たない、権利能力のない社団という形でスタートして今日に至っていますけれども、この会の活動を将来に向けて、より安定的に着実なものにしていくために法人化を含む組織形態をどのようにするか、その上で私たちのこの活動をいかに充実させていくかということ丁度検討するタイミングになってまいりました。今日の総会で直接その議論をするわけではございませんけれども、今日の夕方から法人化の検討をする委員会、第 1 回の集まりもでございます。そういう状況でございますので、皆様にはますますこの会の活動を支えて頂くということが必要だと考えていますので、今後ともどうぞよろしくご支援、ご指導をお願いしたいということをお願い申し上げます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

以上

(本議長挨拶は、平成 28 年 10 月 22 日 (土) 第 4 回通常総会フォーラム議長挨拶を事務局がまとめたものです。)